



# 2016年度 観光カリスマ講座



会場：フォルテワジマ 4階 イベントホール  
〒640-8033 和歌山市本町2-1

定員：社会人 80名、観光学部学生 70名

講習料：無料

※4回以上の講座に出席いただいた方には、修了証書を交付いたします。



<http://www.wakayama-u.ac.jp>

学務第四係(観光学部) TEL 073-457-8542 FAX 073-457-7800

## ■主催

国立大学法人  
和歌山大学観光学部  
和歌山県

## ■後援

公益社団法人和歌山県観光連盟  
和島興産株式会社



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

2016年度

# 観光カリスマ講座

本講座は、各地で活躍する「観光カリスマ」や成功モデルと評価されている観光地のキーパーソンを招聘します。観光カリスマのユニークな発想やリーダーシップを発揮しての事業の推進やコンセンサスの形成方法等の実践事例を拝聴するなかで、和歌山県の観光振興と地域再生の方向性を探る上で参考となる「生きた交流の場」とすることをめざします。

## 第1回 世界が訪れたいくなる「観光先進国」への新たな国づくり

10月20日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 \*休憩10分を含む 会場/フォルテワジマ4階 イベントホール

観光庁 観光地域振興部 部長 **加藤 庸之**

昨年(2015年)の訪日外国人旅行者数が1,900万人を超え、今年3月に新たな目標値として、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、2030年に6,000万人、訪日外国人旅行消費額を2020年に8兆円、2030年に15兆円を示した「明日の日本を支える観光ビジョン」が策定された。

観光地域振興は、関連する産業が多岐にわたる裾野が広い分野であり、地方創生実現の要でもある。本講座においては、これまでの観光庁の観光地域づくりの取り組みと、観光ビジョンの実現に向けた「観光ビジョン実現プログラム2016」について、地域における事例を織り交ぜながら紹介する。

## 第2回 「島を繁盛させる」離島の観光協会を目指して ～次世代型・海士版DMOへ～

11月10日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 \*休憩10分を含む 会場/フォルテワジマ4階 イベントホール

株式会社 島ファクトリー 代表取締役 **青山 敦士**

海士町が位置する隠岐諸島では110軒あった宿泊施設は約10年で、50軒もの宿泊施設が廃業した。離島の観光業にとっての生命線ともいえる宿泊事業の新しい運営のありかたを見直し、地元民宿と新しいブランディングに取り組む「島宿」、観光協会が登録した人材派遣業「マルチワーカー」、全国40の離島とのネットワークで首都圏にレストランを構えている「離島キッチン」子会社となる(株)島ファクトリーで自ら行う「リネン・サプライ業」など、島の観光協会として独自に取り組んでいる様々な事業について紹介し、地域における観光業の在り方を議論したい。

## 第3回 鉄道経営論

12月1日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 \*休憩10分を含む 会場/フォルテワジマ4階 イベントホール

東海旅客鉄道 株式会社 相談役 **須田 寛**

鉄道は高額の固定資産を維持しつつ経営するため、効率性発揮に限度があり、かつ経営施策に弾力性が乏しい。このため、新幹線と都市圏輸送のように、高速特性が発揮できる場合と高密度の輸送が可能なケースを除き経営は厳しい。鉄道経営の維持発展は、他交通機関と連携して輸送システム産業を構成し、その中で一定の役割を果たすこと、また地域戦略(まちづくり)のなかでの位置づけを確保し、そこで適切な役割分担を果たせるような経営基盤の構築がその前提となる。

## 第4回 日本版DMOによるこれからの観光振興の方向性

12月22日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 \*休憩10分を含む 会場/フォルテワジマ4階 イベントホール

株式会社 ジェイティービー 国内事業本部 法人事業部  
観光戦略チーム 観光立国推進担当マネージャー **山下 真輝**

外国人旅行者の急増、日本人による国内旅行市場の減少、そして2020年のオリンピック・パラリンピック開催など、日本のツーリズムを取り巻く環境は劇的に変化しています。外国人旅行者の政府目標が2020年に4,000万人となり、観光地としてのマーケティング力や受入体制が問われています。世界水準のDMO形成に向けて、様々な国の支援策が用意される中、地方における観光振興のあり方を改めて考えなければなりません。本講義では、全国の観光振興の事例を紹介しながら、今求められている日本版DMOのあり方やこれからの持続可能な観光振興の進め方について考えていきます。

## 第5回 人は何故そこに行きたがるのか? ～日常が観光資源となり得る可能性～

1月12日(木) (17:50集合) 18:00 ~ 19:30 \*休憩10分を含む 会場/フォルテワジマ4階 イベントホール

iki design firm 代表 **越前屋 俵太**

人が観光地に求めるものは、美しい風景、由緒ある歴史的建造物、美味しい食べ物、あるいは記念のお土産だけなんだろうか? まだ行ってもないのに、感じてもないのに人々は何に魅力を感じて、そこに足を運ぼうとするのだろうか? 地元の人々は一体何を伝えたいのだろうか? 探偵ナイトスクープ等で一躍人気者になり、現在では京都大学、関西大学で教鞭をとっている越前屋俵太が、2016年度に福井県小浜市の御食国大使となるきっかけとなった、自身が企画制作した観光PR動画を参考に、従来の観光スポットだけではなく、そこに生活する人々の日常が、新しい観光資源となりうる可能性について、みなさんと一緒に考えます。